

第1回例会報告

7月24日の講演 “高調波による電源設備障害とその防止対策” トーエネック(株)FS研究所 主任研究員 技術士(電気・電子) 上原 正和氏

去る3月名古屋市科学館地下2階電源室の爆発事故(場所は当中部支部事務局の中部科学センター直下)は配電線に発生した高調波により電源回路の進相コンデンサ用直列リアクタが過剰電流で過熱したものと想像される。

このような現象は大都市では10年ほど前から急増しており、今回は場所・時期の理由で一般の注目を浴びたが、当事者として思うには、電力供給系における公害問題として測定・対策・法制化を図る必要があるとのことでした。

高調波は、近年のパワーエレクトロニクスの発展による半導体素子のスイッチング動作が配電系統に流入するために発生し電源機器に多くの障害を与えるようになった。その改善の具体的方法は色々であるが、軽負荷時や異常検出によりコンデンサ回路を切る。直列リアクタのリアクタンス比を従来の6%から8ないし13%へ、6%のものは耐量を66~91%へ。設置箇所は6.6kVから低圧側へ移すなど。

もし、現状のまま無体策だとまもなく総合電圧歪が5%を超えるので、抑制量を家電汎用機器は現行の25%、特定需要家は50%にし、そのリプレースを10~20年を見込めれば将来予測として5%の確保ができるとのことでした。

講演終了後、数々の熱心な質問が寄せられました。

引き続き懇親会に会場を変えて18:00まで会員相互の情報交換を行いました。

平成6年度第3回役員会報告H6.6.19(日)

1. 役員会の開催は例会の前後枠なども利用して開催する。
2. 例会開催計画 7、9月は講演会、11月は見学会を。
7月24日、9月18日、11月20日または27日(見学会)、
2月15日または22日(地方自治体との交流会)検討。
3. 会計の支部活動費は会員数に比例した分配を受けたい。
4. 事務局で愛知県技術士会会報の編集に着手する。
会長ならびに担当理事が査読して会報を発行する。
5. 会員名簿・役員担当表の告知、例会案内などはすべて会報を通して業務を一括連絡し簡素化を図りたい。

平成6年度第4回役員会報告H6.7.24(日)

1. 会報(NGAH=Nihon Gijyutusikai-chubu-sibu Aichi-ken gijyutusikai-kai Hou)のあり方を検討。
2. 会計担当(長谷川理事)からの報告
愛知県技術士会の郵便振替口座開設(番号別掲)
ゴム印・公印製作と会計報告。当面支払者の立替えに。
3. 事務局(澤栗)からの報告
準備から会報発送業務までの経費を請求。発送業務は外注。愛知県技術士会事務所の検討を行いたい旨報告。
4. 業務計画の遂行; 9月18日第2回例会(別掲)計画完。
見学会、地方自治体との交流会について次回提案要す。

会員短信

愛知県技術士会会報(NGAH No. 1)を拝見。新進気鋭の諸先生が全力を尽くして愛知県技術士会をまとめられたことをひしひしと感じ、このことは技術士制度発足時に次ぐ盛り上がりであろう。熱し易く冷め易い日本人の世情を踏まえて、ヤル気満々の役員諸氏は実にたのもしく会の中から真のConsultantの続々誕生を期待する(U生)

お知らせ

- 愛知県技術士会入会の方をご紹介申し上げます。
矢崎秀氏(準会員B 電気・電子部門)
上原正和氏(正会員登録29135 電気・電子部門)
会員総数: 135名(正会員122名、準会員13名)
- 日本技術士会会員の方で、愛知県技術士会へ入会を希望の方はご一報下さい(当面会費は無料)。他府県の方で本会へ入会希望者は年会費1,000円を添えて下さい
- 愛知県技術士会の郵便振替口座を開設しました。本会への送金にご利用下さい。加入者名; 愛知県技術士会
口座番号; 00800-8-133660です。
- どなたでも役員会に出席して会の活動にご協力下さい。
申し出は役員まで。役員会開催日時をご連絡いたします
- 会報に会員短信(250~500字)をお寄せ下さい。
新技術情報・業務PR・話題・随筆なんでも結構です。

第2回例会
ご案内

日時: 9月18日(日) 9:30~11:45

場所: 愛知県産業貿易館(TEL231-6351)

西館 9階、第2会議室

講演: “カンパンの始祖・大野耐一氏の思想と現実”
(トヨタ自動車の製造システムを支えたトヨタのカンバン方式を実務担当として体験された話。その底流にあるものは何か。皆さんと一緒に考えてみたいのです。)

講師: 経営・教育コンサルタント(元・トヨタ自工生産管理部長) 横瀬 儀氏

会費 2,000円 (会費は当日徴収)

昼食会: 12:00~13:00 情報交換へ自由参加

場所: 同上、本館地下1階 レストラン サンボー

会費 1,600円 程度(当日実費を等分割徴収)

